

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第二次黄金花咲く交流の郷わくや創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮城県遠田郡涌谷町

3 地域再生計画の区域

宮城県遠田郡涌谷町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は昭和 60 年の 21,362 人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和 7 年には 14,111 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 32 年までには総人口が 7,825 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口推移を見ると、年少人口（0～14 歳以下）は昭和 60 年をピークに減少し、令和 2 年には 1,471 人となっている一方、老年人口（65 歳以上）は増加の一途をたどり、令和 2 年には 5,796 人となっており、少子高齢化が進行している。令和 2 年の老年人口比率は 37.7%で上昇傾向、年少人口比率は 9.6%で低下傾向となっている。また、生産年齢人口（15～64 歳）も昭和 60 年には 14,101 人あったが減少傾向にあり、令和 2 年には 9,526 人とピーク時の約 7 割まで大幅に減少している。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると令和 32 年には 3,304 人まで減少するとされている。

自然動態では、出生数は昭和 55 年に 345 人をピークに減少し、令和 6 年には 39 人となっている。合計特殊出生率については、平成 30 年～令和 4 年にかけて 1.18 となっており、宮城県の 1.09、全国平均の 1.26 と比較すると低く推移している。一方で死亡数は、昭和 55 年の 191 人から令和 6 年には 288 人と増加の一途をたどっており、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は 249 人（自然減）となっている。

社会動態では、平成 21 年には転入者数 448 人、転出者数 521 人と社会減 73 人で、

令和6年には転入者数291人、転出者数421人となっており社会減130人で、転出数は令和4年以降再び増加傾向で、社会動態が人口に及ぼす影響が大きくなってきている。

本町における人口減少は、大幅な出生数の減少（自然減）が大きな原因とし、総人口が減りながらも継続する転出超過による社会減も原因の一つとして考えられる。

今後、人口減少や少子高齢化の急激な進行に伴い、行政サービスの維持が困難となる可能性が高まり、地域のコミュニティ機能が低下する等、様々な分野に影響が及ぶことが懸念される。

これらの課題に対応し、地域活性化や雇用の場の確保するため、コロナ禍以降増加するインバウンドや団体観光の需要を取り込むべく、令和元年度に文化庁によって日本遺産に認定された本町の日本初の産金の歴史をはじめとした涌谷町ならではの歴史文化を生かした賑わいのある産業づくりを図りつつ、若者が本町に愛着を感じて住み続けられるよう、住まいや遊び場等の身近な基盤施設を整え、魅力ある居住環境づくりを目指す。さらに、人口減少の影響を小さくするためには、合計特殊出生率の向上が必要であることから、若者が、本町に住み、働き、結婚し、子どもを産み育て、教育したいと思うような、若い世帯に対する支援の充実をはかりながら、将来において高まる高齢化率を踏まえ、高齢者がいつまでも健康で元気に暮らせる地域づくりを目指す。

これらの取り組みを実践するに当たり、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・将来像目標1 人口減少の抑制
- ・将来像目標2 暮らしの満足度（町民幸福度）の向上

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の将来像目標
ア	ホームページアクセス件数	401,664件	440,000件	将来像目標1

ア	ふるさと納税件数	1, 836件	4, 000件	将来像目標 1
ア	企業版ふるさと納税件数	15件	20件	将来像目標 1
ア	わくや新生活補助金交付 件数（計画期間中累計）	41件	75件	将来像目標 1
ア	地域おこし協力隊期間終 了後の定住件数（累計）	3 件	8 件	将来像目標 1
ア	観光客入込数	236, 505人	300, 000人	将来像目標 1
ア	日本遺産「みちのくGOLD 浪漫」認知度	38%	50%	将来像目標 1
イ	金のいぶき品質 2 等級以 上の割合	54%	70%以上	将来像目標 1
イ	新規就農者数及び後継者 確保人数	1 人	15人	将来像目標 1
イ	企業誘致件数（累計）	1 件	2 件	将来像目標 1
ウ	出会いの場創出事業参加 人数	14人	20人	将来像目標 2
ウ	結婚新生活応援補助金交 付件数	-	10件	将来像目標 2
ウ	婚姻件数	27件	34件	将来像目標 2
ウ	保育所等利用待機児童数	0 人	0 人	将来像目標 2
ウ	放課後児童クラブ希望児 童受入率	100%	100%	将来像目標 2
ウ	放課後等デイサービス希 望児童受入率	94. 1%	100%	将来像目標 2
エ	医療機関、福祉施設等を 対象とした合同研修会の 実施回数	1 回	3 回	将来像目標 2
エ	運動ひろば（運動教室）参 加者数	313人	400人	将来像目標 2

エ	大学との包括協定に基づく実施事業等の学生参加者数	-	20人	将来像目標 2
エ	在宅や施設での看取りの割合	17.8%	35.6%	将来像目標 2
オ	公共交通に関する満足度（「満足」「やや満足」と回答した人の割合）	50%	60%	将来像目標 2
オ	防災倉庫設置箇所数	7カ所	15カ所	将来像目標 2
オ	涌谷町公式LINE登録件数	-	6,000件	将来像目標 2

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第二次黄金花咲く交流の郷わくや創生推進計画

ア わくや交流 2.0 による地域活力の創生事業

イ しあわせな人生が広がるわくや暮らしの実現事業

② 事業の内容

ア “わくや交流 2.0” による地域活力の創生事業

本町とのつながりを更に広く、より深く育む仕組みに加えて、地域産業の活性化と働く場の拡大に重点的に取り組む。「ひとの動き」と「産業」が相互に連動する環境を創出し、交流人口・関係人口の広がりや移住・定住を促進することにより、転入者数の増加を目指す。

【具体的な事業】

● “もうひとつのふるさと・わくや” の創生事業

涌谷町を「もうひとつのふるさと」と感じてもらえる新たな流れをつくるため、地域の魅力の発信力強化、ふるさと納税と観光をきっかけとした「涌谷町のファンづくり」、移住支援と地域活性を担う人材確保に重点的に取り組む。

- ・インターネットや新たなメディアを活用した町外への情報発信
- ・ふるさと納税を活用した関係人口の創出
- ・移住希望者に対する住宅取得の支援及び情報提供
- ・地域おこし協力隊事業の推進
- ・観光機能の整備・充実
- ・日本遺産「みちのく GOLD 浪漫」を活用した観光への取組強化 等

●連携と挑戦が生み出す“わくや産業力”の強化事業

地域産業の活力を高めるため、地元ブランドの継続的な価値向上、新たな挑戦を後押しする環境づくり、企業誘致を通じた働く場の拡大に重点的に取り組む。

- ・金いぶき品質向上事業
- ・新規就農者や事業継承者への支援体制の確立
- ・企業誘致等による雇用創出の促進、企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業 等

イ しあわせな人生が広がるわくや暮らしの実現事業

出会い・子育てへの支援、地域力を生かした支え合い、そして快適に暮らし続けられる生活環境の向上に重点的に取り組む。「つながり・安全・安心・快適・喜び」のある“わくや暮らし”の実現を町民との協働で進め、町民の幸福度向上に寄与する。

【具体的な事業】

●出会い・結婚・出産・子育てへの応援の充実事業

「涌谷町で家庭を持ち、親子で暮らしたい」と感じてもらえるように、人生の節目となる「出会い」「結婚」「出産」「子育て」の応援と、子どもが安心して過ごせる放課後対策に重点的に取り組む。

- ・出会いの場創出事業

- ・結婚促進事業の実施
- ・若者の婚活事業の充実
- ・安心してこどもを生み育てる環境の整備
- ・放課後児童クラブ利用希望児童全数受入れと支援体制の充実
- ・放課後等デイサービス事業者参入支援と専門支援の確保 等

●家庭と人生を支える取組の充実事業

誰もが安心して末永く暮らしていける環境をより良くするため、支援の必要な家庭に伴走する多機関連携体制の強化、地域の力による町民同士のつながりの広がり、人生の最期を自分らしく迎えることを支える環境づくりに重点的に取り組む。

- ・包括的支援体制の充実
- ・地域介護予防活動の支援
- ・地域福祉を担う人材の育成
- ・在宅医療介護体制の推進 等

●快適性と安全性を高める生活基盤の強化事業

平時も災害時も安心して快適に暮らしていける生活基盤の強化に向けて、公共交通による移動のしやすさと、素早く正確な情報発信の機能強化に重点的に取り組む。

- ・町民バスの最適化、ダイヤ見直し
- ・災害対応力強化
- ・LINE 公式アカウント普及による生活情報や災害情報の発信 等

※なお、詳細は第3期涌谷町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,500,000 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

重要業績評価指標（K P I）の達成状況について、毎年度、町民・地域をはじめ多様な関係者と行政が連携・協働する共創型で、P D C Aサイクルに基づくローリング方式により実施事業の検証や考察を行い、涌谷町のホ

ームページなどで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで